

消防職員向け食物アレルギー緊急時対応講習会 in宮城県消防学校

宮城県内の消防職員を対象とした、食物アレルギーによる緊急時対応講習会が宮城県消防学校で開催され、53名の方々が参加されました。講師は宮城県立こども病院より秋医師、鈴木看護師、村上看護師の三名の方に務めていただきました。

内容は座学と実技で構成され、座学では食物アレルギーに関連する近年の施策や教育機関・医療機関との連携についてお話いただきました。

実技では、エピペン®の扱い方について学習した後、トレーナーを用いて実際に自分の足に打つ練習を行いました。今回の参加者には実際の現場でエピペン®を打った経験のある方はいらっしゃらなかったため、大変貴重な経験となりました。

続いてグループ演習では、4人1組となり患者を押さえる役・エピペン®を打つ役になり患者にエピペン®を打つ練習を行いました。ここでは人に打つ際の身体を押さえるポイントについて確認しました。

最後は緊急時の場面を設定し、救急要請から救急隊が現場到着しエピペン®を投与するまでの演習を行いました。講師が教職員役となり救急要請を行い、参加者の中から代表で数名の方に指令室役と現場に駆け付ける救急隊役を行っていただきました。

この演習では、実際の現場となると当事者は不安な心理状態にあり、エピペン®を打つことに躊躇したり誤注射する可能性もあるため、指令室は口頭指示で誘導する難しさを感じていただきました。

【参加者感想】（抜粋）

- ・エピペン®使用のタイミングや特性について再確認することができた。
- ・食物アレルギーが年々増加傾向にある中、研修機会が少なかったため、今回の研修は有意義なものとなりました。
- ・食物アレルギーの現状と課題について勉強になりました。今回の研修内容を現場活動で活かしていきたいです。

